

# 彦名通信

2021

6

COMMUNICATION MAGAZINE NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), YONAGO COLLEGE

vol.204



## Index

### 新年度特集

校長挨拶	2
総合工学科発足	3
教務主事、学生主事から	4

### クラス便り

1年1組	5
1年2組	6
1年3組	7
1年4組	8
1年5組	9
留学生、編入生、専攻科入学生	10

新任教員紹介	11
さくら連絡網、BYOD、がブリ!	12
キャリア支援室、地域共同テクノセンター	13
学生会	14
入賞報告	15
としょぶらり	16 ~ 23
卒業生は今	24

# 「総合工学科」誕生！ 新入生を迎えて

校長 寺西恒宣

令和3年4月1日、本校に総合工学科が誕生し202名が入学しました。また、既存の学科に、外国人留学生4名、編入学生1名、さらに専攻科に23名、合計230名が入学しました。本校の教職員ならびに在校生一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。また、皆さんの入学を待ち望み、これまで皆さんを育て支えて下さった保護者をはじめ関係の皆様、心からお祝いを申し上げます。

さて、本校は、昭和39年に、機械工学科・電気工学科・工業化学科からなる高等教育機関として創立しました。その後、昭和44年に建築学科、昭和62年に電子制御工学科が新設され、5学科・1000名の基盤が築かれました。以来、今日に至る57年の間に、工業化学科は物質工学科に改組、電気工学科は電気情報工学科に名称変更しながら、本校は時代の先端を行く優秀な人材を育ててきました。

そして今、本校は、さらなる飛躍を目指し、これら5学科を1学科・5コース制の「総合工学科 (Department of Integrated Engineering)」に大きく改組しました。第4次産業革命、Society5.0などの社会変容が急激に進む中において、時代の変化と技術の急速な進歩に対応すべく、教育内容の高度化を目指したものです。その目的は、次のとおりです。

- ①複眼的視野と幅広い知識をもち、自らの専門分野に異分野の知識や技術を融合して、新たな社会的・経済的価値を創出することができる総合力を備えた技術者を養成する。
- ②工学の基礎知識や専門知識・技術を備え、様々な分野の人材が集まったチームの中でも適切なコミュニケーションをとりながら、複合・融合的な視点をもって創造的なものづくり・ことづくりが行えるように以下の能力を培う。
  - 高度情報化社会に対応するため、それぞれの専門分野において情報工学の技術を活用できる能力を培う。特に「数理・データサイエンス」に関連して、多種・多様・大量のデータを分析・解析し、そこから新たな価値や知見を見出す能力を強化する。
  - 地域の特性や風土をよく理解し、グローバルな視点をもってその発展に寄与する提案や、リーダーとしての活動ができる能力を培う。
  - 高齢化社会への対応は地域のみならず全国共通の課題であることから、「医療」「福祉」「介護」の分野において学んだ技術や知識を応用できる能力を培う。
  - 自らの学習過程において教養教育と専門教育を融合することでジェネリックスキルを高め、学んだ技術や知識を社会に還元できる能力を培う。

また、高専本科5年間を卒業したのち、より高度な専門知識と技術を教授し、豊かな創造力と卓越した研究開発能力をもった実践的開発型技術者を育成するため、平成16年には専攻科が新設され、今年で17年目を迎えます。

どうぞ、新入生だけでなく在校生の諸君も含め皆さんが一丸となって、この米子の地で青春を謳歌し、これからの新しい時代を切り開いて行ってください。皆さんが、本校の恵まれた環境の中で自らを絶えず律し、志を高く持ち続け、自分の挑戦の目標・方向性・今後の展開・波及効果などを自問自答しながら進んでいけるように、私たち教職員はしっかりサポートしてまいります。

皆さんのますますの活躍と発展を祈念しております。

## 令和3年度入学式の様子



# 総合工学科の発足にあたって

総合工学科長 小川和郎

令和2年7月、総合工学科への改組申請が正式に認可され、令和3年4月、総合工学科としては第1回目となる入学生を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と、心より感謝しております。

思い起こせば、平成28年から約5年間の歳月を掛けて学科改組の検討を行って参りました。まず、入学後のミスマッチを防ぐため、企業や在学生を対象としてアンケートを行い、適切な入試や教育の在り方を検討しました。また、高専の使命である地域貢献に資するため、鳥取県の経済成長戦略に沿った人材育成の在り方を検討しました。さらに、産業界が求める人材を輩出するため、専攻分野の専門性を有するだけでなく、幅広い教養や国際性、高い倫理観などを備えた人材の養成についても検討しました。総合工学科のカリキュラムは、これらの検討事項をすべて盛り込む形で構成しました。

現在、1年生では各コースの講義、演習、実験を体験させています。入学前には知らなかった各コースの魅力や面白さに触れ、コース選択の参考にして頂ければと思います。各コースの不明な点は、担任のほか、学年補佐の先生までお問い合わせください。また、今年度からBYOD (Bring Your Own Device) を導入し、学生個々にパソコンを持たせています。これは低学年で数理・データサイエンス教育を展開することで、技術者に必要な情報技術に関するスキルを早くから身につけさせるためです。特に苦手意識を持っている学生は、毎日パソコンに触れることで慣れて欲しいと思います。

2年生ではPBL型(課題発見・解決型)授業を展開します。これは、学生の「主体的な学び」の質を高めることを目的としており、グループ活動を通してコミュニケーション力も養います。また、地域産業に関する授業なども取り入れ、地元企業への理解も深めてもらいたいと考えています。2年生後期からは、いよいよコースに配属されて各専攻の専門分野を学びますが、これまで学んできた幅広い知識と関連させることで、複合的な視野を身につけてもらいたいと思います。

高学年では地域のニーズでもある医療・福祉・介護をターゲットとした医工学・ヒューマンデザイン教育により、医工学の分野に自らの専門知識・技術を応用できる素地を持たせます。また、2年生と一緒にPBL型授業に取り組むことで、グループ内におけるリーダーシップ力も身につけます。

これらのほかにも、総合工学科では5年間を通してリベラルアーツ教育を展開しており、培った専門知識や技術を幅広く応用する力も身につかせます。卒業生が新規産業のパイオニアとして活躍できるよう、我々も一緒に成長し続けていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



機械システムコース工学基礎実験の様子



電気電子コース工学基礎実験の様子



情報システムコース工学基礎実験の様子



化学・バイオコース工学基礎実験の様子



建築デザインコース工学基礎実験の様子

## 教務主事、学生主事

### 履修に係る規則改定について



教務主事 新田 陽一

本年度、教務主事を拝命しました総合工学科・電気電子部門（4/1付にて全教員が新設された総合工学科の6つの部門に配置換えとなっています）の新田です。どうぞよろしくお願

いたします。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う休校措置に始まり、遠隔授業の実施、各種行事の中止など、なかなか落ち着いて学業に取り組めない1年でした。文部科学省や高専機構本部からはその点に配慮するよう指示があり、本校でも、本科について以下のような規則改定を行いました。①1・2学年の進級要件の緩和（進級に必要な修得単位数の削減）、②欠課時数の上限を年間授業時間の1/5から1/3に緩和、③原級留置に伴う退学措置の見直しと在学期間を10年へ拡大、④追認試験の対象科目の要件（前年度科目のみ）の撤廃、などです。ただし、卒業要件は変わりませんので、毎年、各学年の学修課程をしっかりと履修することを基本としてください。

### 年度はじめにあたって



学生主事 中山 繁生

早いもので令和3年度が始まって3カ月が過ぎようとしています。

今年度もコロナの影が我々に重く押し掛かっており、既に体育祭と課外活動に影響が出て

います。今後の学校行事や課外活動を安全に行うためにも、一人一人が感染予防の意識を持ちましょう。

ここから先は始業式で皆さんにお願いしたことを、再度示したいと思います。

まず1つ目は「心の健康を保つ」ことを心掛けてください。もし悩みやストレスが自分では抱えきれない位に大きくなってしまったら、担任や学生相談室の先生に相談をしてください。学校はみなさんの相談にのりますので、安心してください。

2つ目は、「自分の行動に責任」を持ちましょう。非常に残念なことではありますが、米子高専ではここ数年続けてSNSに関連した問題が発生しています。普段何気なく使用しているSNSですが、自分が上げようとしている文章や画像が、他人を傷付けていないか、侮辱していないか、不快な思いをさせていないかを、今一度よく確認してください。

## 学生相談室のご案内

学生相談室長 森田 典幸

学生相談室は悩みを抱えた学生へのサポートを行っています。教員の中から任命されたスタッフに加え、校外の専門家によるカウンセリングの機会も提供しています。本年度のスタッフと担当の曜日は以下の通りです。

学生相談室員	小林 玉青（教養教育部門）	井上 学（情報システム部門）
看護師	上本 菜々実（保健室）	
インテーカー	山田 香子（学生相談室）	
カウンセラー	吉岡 伸一（精神科医・月1回月曜日）	
	角南 なおみ（臨床心理士・月2回木曜日）	
	竹崎 摩由（臨床心理士・月3回水曜日）	
	伊藤 政志（臨床心理士、月3回金曜日）	
スクール・ソーシャル・ワーカー	廣江 仁（月2～3回）	

学生にはパンフレットを配布し、悩みがある場合は抱え込まずに来室を呼びかけていますが、保護者の皆様におかれましても、家庭での様子がおかしいので尋ねてみても話したがらない等の場合は、下記連絡先にて手紙と電話で受け付けておりますのでご相談下さい。

【宛 先】〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448 米子工業高等専門学校 学生相談室

\* 返信先のご住所とお名前をご記入ください。

【電話番号】0859-24-5262 \* 月曜日～金曜日の9:00～17:00



4月：緊張感のある1年1組

「高専だから、繋がれた」

1年1組 井東 佳希

入学当初、私はこのクラスに馴染めるのか不安でした。今思えば、初日は誰もが緊張していて、会話もあまり弾んでいませんでした。数日後、思い切って学級委員に立候補してからは、「みんなが団結して、“つながり”を大切にできるそんなクラスにしたい。そのためにはどうすればよいのだろう。」と悩んでいました。しかし、そんな心配は杞憂に終わりました。たった数週間で、クラスはみるみるうちに仲を深め、今では、とても居心地の良いクラスになれたのではないかと思います。その理由は、米子高専の自主性を尊重する校風にあると私は考えています。米子高専は自由だからこそ、一人一人の自主性が問われる。そんな環境だからこそ、私たちは結束できたのだと思います。これからも、ますます絆を深め、何事にもクラス全員で協力して取り組んでいきたいです。

「高専生活の始まり」

1年1組 平賀 そら

高専に入学して約2ヶ月が経ちました。この2ヶ月は本当にあっという間で、高専の授業、寮生活、友達関係など沢山のことに慣れないといけなく大変でしたが、楽しいことが多かったように感じます。高専の授業スピードはやはり中学校のスピードよりはやく、最初はついて行くのに必死でしたが、友達と助け合いながら少しずつ慣れていきました。



担任インタビュー

1年1組担任

川 邊 博

「クラスの特徴」

自己紹介で「人見知りなので声を掛けてください」という学生が多いので、対面を避けて友達と相談する機会をつくとすぐに話し出して、盛り上がり過ぎてしまいます。正直者の担任が世の中を疑ってしまうほどの笑顔と勢いのあるクラスです。

「どんなクラスになってもらいたい」

人生、志を立ててから形になるまで十年の努力の積み重ねが必要だと思います。十年後、社会で活躍し出したみなさんが心の支えとして思い出すのは、真剣に悩み取り組んだ日々と励まし合った仲間です。このクラスで共有してもらいたいものです。

「クラスの学生へのメッセージ」

努力の結果は大きいほど現れるまで時間差があるもので、努力の意味を疑うこともあるかも知れません。しかし、何かを成し遂げた人の話を聞くと、十年前に抱いたこうなりたいというイメージからつながる結実であるようです。ブレずに努力。

特に、各コースの授業を少しずつ体験させてもらい工学の基礎を学ぶ工学基礎実験がとても楽しかったです。入学前は化学・バイオコース一択でしたが、各コースを体験してみて、他のコースにも興味をもちました。自分の進路を決めていくのに参考にしたと思います。この1年は進路が決まる大事な1年になります。クラスのみならず高め合いながら頑張っていきたいと思います。



6月：ちょっと馴染んできた1年1組



梅雨の晴れ間に

「高専生活での抱負」

1年2組 高石 万里

米子高専に入学してから2ヶ月が経とうとしています。入学したばかりの頃は、高専での授業や校舎や施設の規模、初めての寮生活など、たくさんの“初めて”に期待や不安、戸惑いを感じたこともありましたが、しかし、先輩方や先生方の優しさのお陰で、徐々に不安も和らぎ、高専生活に慣れてきました。たくさんの部活動が勧誘に来て下さり、体験に行かせて頂いた時も優しく教えて頂きました。今では部活動を決めて、大会に向けて練習をしています。

そして今、高専での最初の試練ともいべき前期中間試験がやってきます。中学までに無かった新しい教科もあり、何といっても初めてのことで不安もありますが、全力を出し切れるように、しっかり復習をして臨みたいですね。

まずは前期、文武両道で挑戦する心を忘れず、充実した高専生活を送れるように精進していきます。

「米子高専の印象」

1年2組 浦富 心愛

私は高専に入学して、課外活動が活発だなという印象を受けました。入学前から、ロボコンやデザコンなどでの活躍を耳に聞いていましたが、実際に高専で過ごしてみて、国際交流やオープンファクトリーなど、学生が将来必要な力を身につけることのできる活動が多く、ありがたいと感じる場面が多々ありました。これからの5年間では勉強だけでなく、このような課外活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

また、自由な校風を大事にしていることが感じられます。中学校では先生の指示があり、それに沿って動くことがほとんどでしたが、米子高専では学生が主体となって様々な活動を運営しています。これにより学生の意思が尊重され、学生は楽しく生活を送ることができていると思います。学生が主体となることで、運営力や、考え・行動する力を身につけることができ、学生自身も成長することができるこの校風はとてすてきだなと思っています。



担任インタビュー

1年2組担任

蔵岡 誉司

「クラスの特徴」

人の話にきちんと耳を傾けることができ、また節度のあるとても良いクラスです。

お互いに協力し助け合っていこうという思いやりも感じられます。

「どんなクラスになってもらいたいかな」

お互いを尊重しあって、何かにつまづいて困っている人がいれば、そっと助けてあげられるクラスだといいな…。

「クラスの学生へのメッセージ」

皆さんは感受性の豊かな年代を生きています。何かに憤ったり、虚しさを感じたり、心を奪われることがあったり…。人生は山あり谷ありですが、勉強にしろ高専生活にしろ、今なすべき本道を一歩一歩すすんでほしいと思います。



昼休みのスナップ



授業中のスナップ



集合写真

「米子高専に入学して」

1年3組 稲毛 康仁

米子高専に入学して思ったことは、授業のスピードがとても速いことです。中学と比べて授業時間が長く進度も速いため、全てを処理しきれず、予習をしようと思っても、宿題や復習をしていく内に時間がなくなり、なかなかできません。もっと時間を上手に使えるようになりたいです。

今のクラスは全体的に仲が良く、これからもこんな感じがいいなと思います。寮は思っていたよりも楽で、食事、入浴、点呼の時間さえ守れば快適に過ごせます。1年生の内は当番や週番があたりして忙しいけど、生活力が育つと思えば楽になりました。こき使われたくないの、早く2年生になりたいです。もうすぐテスト週間なので、ゲームを封印して頑張ろうと思います。

「自由な校風ということ」

1年3組 坪井 春花

米子高専に入学して、今一番驚いているのは自由な校風だ。入学前から高専はスマホを持ってきてもいいとかWi-Fiがあるとか色々聞いていたため、自由な学校だとは思っていたが、いざ入学し一ヶ月高専で過ごしてみると、想像以上に自由だった。こんな学校は他にはないと強く思った。

しかし逆に分かったこともある。高専は自由であ



4/9 コース施設見学



担任インタビュー

1年3組担任

渡 邊 健

「クラスの特徴」

明るく元気なクラスで、勉強にも行事にも積極的に取り組んでいます。クラスレクや掃除・日直など、色々な場面でみんながそれぞれの立場から全体のことを考えて活動している姿に感心しています。

「どんなクラスになってもらいたいか」

明るく楽しい雰囲気を保ちつつ、けじめをつける場面ではそれを守るクラスです。また今、放課後の教室で一緒に課題をしたり勉強を教え合ったりしているように、お互いに助け合えるクラスであってほしいです。

「クラスの学生へのメッセージ」

高専では学生の自主性が尊重される一方、結果は全て自己責任とされるので、自ら学び自らの行動に責任を取ることを第一に考えてください。高専の環境を活かし、自己実現してほしいと思います。

る代わりに勉強がとても大変だ。私はそれを感じたとき、少し恐怖を覚えた。高専では自分自身にけじめをつけることがとても大事だと思う。それを含め、今の高専生活はとても楽しい。中学生の頃には感じられなかったものが今はすごく感じられる。同じ考えの人が集まっているのも一つの理由だと思う。

今感じている慣れが悪い方向に行かないように、楽しみながら気を引き締めていきたいと思う。



5/25 トランプ大会

「ガイダンスを通して」

1年4組 坂口 宗

今年度から新規入学生は総合工学科になり、1年生は1年間それぞれのコースについて学び2年生の後期から自分の選択したコースに進むことになります。私は期待と不安を胸に米子高専に入学しました。入学後1週間かけて行われるガイダンスを通して不安はだんだん期待にかわっていきました。ガイダンスでは総合工学科の特質や、それぞれのコースの特徴・強みなどをわかりやすく説明してくださいました。またコース見学では5つのコースをまわり、実際に様々な体験をしました。どのコースも魅力的で工学基礎実験の授業が楽しみになりました。私は今年度から総合工学科になったことで自分の進みたいコースを入学後に選ぶことができるのはとても良いことだと思います。この1年間を大事に何事にも全力で取り組んでいこうと思います。

「入学後の生活」

1年4組 岡野 晴人

私はどちらかというと文系で、理数系の科目が苦手です。高専は理系科目がとても難しいと聞いていたので、入学する前は授業についていけるかとても不安でした。しかし、いざ授業を受けてみると、中学校で学んでいた内容から始まったので、その不安は少しだけ晴れました。

私は入学してからまず校則の自由度に驚きました。県内の他の高校では校内でのスマートフォンの使用が禁止されているのに対し、高専では使うことができます。授業が90分と長いですが、慣れれば一日がとても早く終わるようになります。最初は入学したことを若干後悔していましたが、二か月弱経過してみると何とかなるような気がしてきました。これからはきちんと卒業するためにも理系科目を頑張っていきたいです。

担任インタビュー

1年4組担任

藤本 晃 嗣

「クラスの特徴」

1年4組は、入学後の早い時期からにぎやかなクラスでした。そして、ただにぎやかなだけではなく、委員決めや体育祭の種目決めなどで自ら率先してやる、自発的に行動できる学生が多いクラスです。

「どんなクラスになってもらいたいのか」

今後は、この雰囲気大切にしながら、様々な人との関係の中で互いの個性を尊重しあい、居心地が悪いと感じることのないクラスになってほしいと思います。

「クラスの学生へのメッセージ」

なにより健康でいてほしいと願っています。しんどい時などには周囲の人の力を借りながらも、自分の心と体を大切にしてほしいです。その上で、自己実現に向けて、充実した1年間、そして高専生活にしてください。



休み時間の様子



集合写真





集合写真

担任インタビュー

1年5組担任  
原田 桃子

「入学後の抱負」

1年5組 上山 陽詩

米子高専に入学をして今までとは違う生活がスタートしました。授業数や、授業のスピードが変わり簡単に慣れることはできませんが自分なりについていけるように頑張っています。2年生になるとコース選択があります。それぞれのコースに別れるのですが私が志望しているコースにいけるのかとても不安です。なので1日1日を大切に、予定を立てながら予習や復習に取り組みたいと思います。また定期テストでは十分に力が発揮できるようにしたいです。

入学して、約1ヶ月半経ちました。まだクラスはお互い慣れていない感じがします。クラス行事や高専祭などを通して仲を深め協力できるようにしたいです。

現在コロナウイルスの感染が拡大しています。体調を崩しては勉強などに集中することができません。体調を崩さないためにも手洗い、うがい、マスクの着用などをお互いに声を掛け合いながら徹底して行いたいと思います。

「印象の変化」

1年5組 青木 淳之祐

米子高専に入学して約1ヶ月半が経ち、学校のしくみについてなんとなく理解してきました。それに伴い、僕の中の高専の印象は入学する前と後で変化していると感じました。入学前は勉強についていけるか不安であったり、年の離れた学生との繋がりに消極的な考えを持っていました。しかし、勉強の面では、優しく教えてくれる先生

「クラスの特徴」

元気なクラスだと思います。LHR 企画や行事の準備など積極的に楽しんでいるようです。一方で、勉強に対しても熱心に取り組んでいる様子で、オン・オフの切り替えがしっかりできている印象です。

「どんなクラスになってもらいたいか」

40人それぞれの個性を認め合い、お互いを高め合う関係を築いてほしいと思っています。今のクラスにある良い雰囲気はそのままに、40人それぞれの持つ感性や意見を大事にしなが、協力し合えるようなクラスになってほしいです。

「クラスの学生へのメッセージ」

最初のLHRで「5年後の自分を想像できるようになる」そして「健康第一」を目標に掲げましたね。この一年間で様々なことを学び、将来の自分に向かって進んでいってほしいと思っています。そのためには何よりも健康が大事です。心身ともに元気でいましょう。

や友達がありました。テストの2週間前になると放課後学習教室が開かれ、専攻科の先輩が教えてくれます。僕が入学前に心配していた、勉強や横の繋がりについての考えが変わり、生活に少し余裕が持てました。

また、入学してから数日は修学ガイダンスがありました。ゲームや地震の体験、パソコンの操作などを行い、楽しいガイダンスでした。希望の学科はありましたが、ガイダンスを通して、様々な学科に興味を持ってました。これからは高専生としての自覚を持って毎日を過ごしていきたいです。



LHR企画ドッジボール大会の様子



LHR企画ババ抜き大会の様子

## 留学生の紹介

### 3M ウェスレイ ウィリブロドウス

初めまして、インドネシアから来た留学生のウェスレイです。趣味はジョギングと料理と物理学の難問を解くことです。米子高専に入る前に日本語学校で半年ぐらい日本語を勉強したのである程度日本語が話せます。

日本に留学した主な理由は日本の先端技術を身につけたいからです。それだけでなく、日本の色々なことにも興味を持っているからです。これからも高専での勉強を頑張って大学進学を目指します。

皆さんと仲良くなりたいので遠慮なく話しかけてください。よろしくお願いします。

### 3D ジャスティン

はじめまして、私はマレーシアからのジャスティンです。

米子高専に留学する前に、マレーシアで2年間ぐらい日本語を勉強しましたが、いっぱい友達を作るためにもっと日本語能力を高めるつもりです。

私はコンピュータとか携帯とか一般的の技術に興味を持っていますので米子高専で電子制御を学ぶのがふさわしいことと思います。今、コロナウイルスの影響でまだマレーシアに住んでいますので、いつ来日できるのかわかりません。でも、当日まで遠隔授業を受け続けて頑張ります。

3年間よろしくお願いします。

### 3A ビルグーン

私の名前はビルグーンです。モンゴルから来ました。20歳です。音楽を聴くことが好きです。そして、バスケットボールをすることが大好きです。バスケット部に入ろうと思っています。それで、野球部に見学したいと思っています。趣味は本を読むことです。そして、暇のとき、アニメを見ます。私の得意科目は数学や物理です。

私が詳しく学びたい科目は都市計画です。都市計画を詳しく学んで、国へ帰ったら国の開発に助けるいいエンジニアになりたいと思っています。

## 編入生の紹介

### 4A 建築学科 加茂 大助

福岡県立福岡工業高等学校から建築学科に編入してきた加茂大助です。高校では、これといった賞や成績は残していませんが、高校の課題や実習を通して建築に興味を持つ様に成りました。だから、一般の大学よりもより専門的な知識や技術を学べる高専編入を選択しました。

工業からの編入で数学・物理はほとんど基礎も学

校でやったことがないため、先生やクラスの人たちに教えてもらいながら勉強を頑張りたいと思います。

2年間よろしくお願いします。

## 専攻科入学生の紹介

### 生産システム工学専攻 足立 凜

専攻科は、本科のときとほとんど変わらない環境で過ごすことができるため比較的簡単に馴染むことができたと思います。また、専攻科の授業を通して、より基礎を固めつつ他の分野にも興味を持つきっかけになっています。特に工学系の分野では各分野が一丸となって協力して一つの製品を作ることも多いと思うので非常にためになります。

特別研究では画像認識技術を活かした地域課題の解決について本科の学生と一緒に研究を行っています。お互いに足りないところを補い合いながら頑張っていきたいと思っています。

### 物質工学専攻 村上 悠真

高専本科卒業後、幼い頃より興味があった化学を含めた科学について更に学び地域や社会に学んだ知識や経験を還元でき、社会の恒久的な課題について解決に貢献できるような技術者になりたいと思い専攻科への進学を決意しました。現在、物質工学専攻にて、本科よりも更に高度な材料工学、生物工学、一般教養についての知識を包括的に学んでいます。専攻科卒業後も本科の4倍近い求人倍率、大学院進学など豊富な進路が用意されており、短い在学時間を有効に活用していきたいと思っています。

### 建築学専攻 持田 侑乃

専攻科に入学して2ヶ月が経ちました。本科で学習したことに加え、より詳しく、深く専門分野について学んでいるという実感があります。また、他学科との合同授業もあり、新たな知識の吸収や交流の広がりなど、充実した学生生活を過ごしています。

現在は建築士試験に向けて勉強中です。同じ目標を目指す仲間もいるため、切磋琢磨しながらとても良い環境で取り組むことができています。多面から刺激を受けながら、自身の将来の目標に向けて、有意義な時間にしていこうと思っています。

## 新任教員の紹介



機械システム部門 上原 一剛

令和3年3月に機械工学科に着任しました。授業は機械材料学を担当しています。私は、鳥取大学医学部附属病院で、医療用マウスピースや医療用シミュレータといった医療の現場で使われる機器の開発に関わってきました。開発を成功に導くには総合工学力が必要であると感じています。米子高専では、これまでの経験や連携関係を活かしながら、地域から必要とされる研究室を目指して活動したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



機械システム部門 木下 大

機械工学科改め機械システム部門に着任しました、木下大と申します。鳥取県日南町出身で、米子高専専攻科の卒業生です。卒業後は1年間県外の繊維加工企業に勤めた後、島根大学大学院の制御工学ゼミへ入学、博士の途中から鳥取県産業技術センターに就職し、地元企業の金属加工・計測システム開発の技術支援にかかわる業務の傍ら、大学では機械制御の理論サイドを学ぶという貴重な経験をさせていただきました。本校でも、自身の専門分野を軸に、鳥取県の地域性を活かした研究に挑戦していきたいと考えています。



建築デザイン部門 荒木 菜見子

建築史系の科目を担当する荒木です。昨年度まで京都工芸繊維大学に在籍し、高校卒業以降の約10年間を京都で過ごしました。一般的に、京都＝歴史ある街と言われますが、自分が建築学系のなかでも歴史に興味を持ったのは、学生時代を過ごしたのが京都であったからかもしれません。山陰地方も、豊かな歴史のある地域ですよ。場所が変わるとまた違うものが見えてくるのが歴史研究の面白い所です。この地域について知らない事、知りたい事が沢山あるので、皆さんとの日々の中で、多くを学びたいと思っています。



教養教育部門 遠藤 香菜子

今年度から米子高専に着任しました、教養教育部門の遠藤です。担当科目は英語です。出身は米子で、大学進学で県外に出ている時期以外は、ずっと米子に住んでいます。昔は都会で暮らしたい欲もありましたが、最近は地元の米子が一番落ち着くと感じるようになりました。旅行が好きで、今まで11ヶ国を訪れた経験があります。(今後も更新予定)海外で触れた文化や価値観を教育に還元できるように心掛けています。気軽に話しかけてください。

教養教育部門 赤山 幸太郎

この度、教養教育部門に着任致しました赤山です。ももとの所属は高知高専のソーシャルデザイン工学科ですが、高専間人事交流による配置換を経て、郷里である米子の高専でお世話になることになりました。研究分野はアメリカ文学で、特にノーベル賞作家のウィリアム・フォークナーについて論文を書いています。教育歴としては、私立大学の非常勤講師として3年間英語を教えた後、高知高専で18年間、阿南高専で2年間英語教育に従事し、その間、高知大学でアメリカ文学の授業も担当しました。これまでの英語教育の経験を活かし、米子高専での教育に貢献していく所存ですので、短い期間ですが、宜しく願ひ致します。

# さくら連絡網・BYOD・電子学生証アプリの導入について

教務部・情報教育センター 田中 博美

## さくら連絡網について

学生・保護者の方々へ、重要度や緊急性が高い連絡事項（新型コロナウイルス感染症や台風等の対応など）を通知する方法として“さくら連絡網”を導入しています。さくら連絡網は、電子メールやスマートフォンのアプリを使って、学校から連絡を受信するだけでなく、学生・保護者のみなさまからも本校へメッセージの送信ができるシステムになっています。

## BYOD について

今年度の新入学生から、各自でノートPCを準備・持参し、授業で使用するようになりました。これは**BYOD**（Bring Your Own Device：自分の端末を持参する）と呼ばれるものです。ノートPCは、授業資料の配布・確認・記入、レポートや発表資料の作成、e-learningを用いた学習等のほか、電子メールや電子掲示板の確認など日常的な学生生活においても日々、活用しています。

また、今後、コロナ対応に限らず様々な災害時に、「安全確保」と「学びを止めない」ことを目的に、いつでも「リモート（インターネットを利用した遠隔授業）」に切り替えて授業を行うことができるという利点もあります。

これら授業や自学自習にノートPCや情報機器を積極的に活用し、学ぶ意欲を引き出すことで、教育の高度化や学校との連絡・連携強化等を進めているところです。



自分のノートPCを使って情報の授業を受ける様子

## 電子学生証アプリ（がプリ！／MyiD）について

今年度より、スマートフォンを利用した「電子学生証アプリ」を導入しています。これにより、出欠状況や学校からの連絡事項、災害時の安否確認などについて、学生だけではなく保護者の方々とも迅速で円滑な情報共有を図り、学生の皆さんに、より安全で安心な教育環境で学んでいただくことを目的としています。下記に、本アプリの機能の一例を示します。

- ・学校への連絡がスムーズ（欠席、遅刻、電話ボタンで簡単に学校へ連絡可能）
- ・災害発生時の安否確認がスムーズ
- ・時間割や学生便覧などの情報がいつも身近に
- ・デジタル学生証で図書貸し出しなどが可能

# キャリア支援室

キャリア支援室長 前原 勝樹

キャリア支援室(平成20年4月設置)は、自分が進むべき適性を判断するキャリア(職業・就業知識、実地経験)を身に付ける機会を提供し、本校学生が社会で活躍するための人生設計を支援しています。女子学生が多い米子高専では、女性のための身だしなみ講座を実施するなど、女子学生のためのキャリア支援も積極的に行っています。米子高専のキャリア支援は、地元山陰の企業(米子高専振興協力会)などと協力して行うオープンファクトリー(企業見学)のように、地元の他機関と共同教育を行っている点に特徴があります。

## 米子高専のキャリア支援

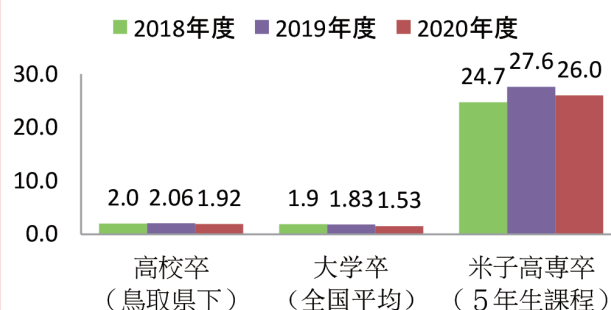
米子高専のキャリア支援は、1年生のキャリア講演会、2年生のオープンファクトリーによる地元企業見学、3年生での工場見学旅行による県外企業見学、4年生以上でのインターンシップや進路研究セミナーの開催など、学年進行に応じて自分の生き方を設計する力を身につけるための体制がとられています。

## 学年進行に応じたキャリア支援体制

専攻科2年	進路指導	資格取得支援
専攻科1年	インターンシップ(10日間)	
	共同研究等(特別研究指導)	
本科5年	進路指導、共同研究等(卒研)キャリア講演会など	
本科4年	校外実習(インターンシップ5日間)	
	進路研究セミナー(企業・大学合同説明会)など	
本科3年	工場見学旅行(県外)	
本科2年	校外研修旅行(オープンファクトリー:山陰の企業見学)	
本科1年	キャリア講演会など	

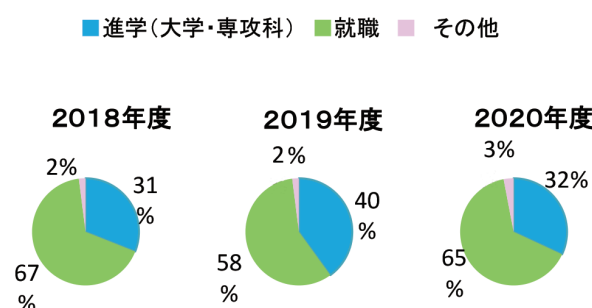
※ここでは学年進行に応じたキャリア支援体制の全体像を紹介しています。令和3年度の行事に関しては別途お知らせします。

## 求人倍率の推移



本科求人倍率26.0倍と好調を維持しています。

## 進学・就職の割合(5年生)



2020年度の大学・専攻科進学率は32%でした。

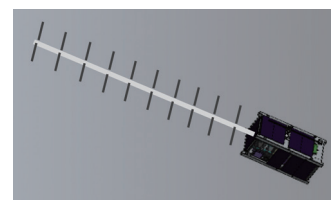
## 高専連携衛星2号機「KOSEN-2」の開発と継続した宇宙人材育成について

情報システム部門 徳光 政弘

米子高専を含む8高専(新居浜高専、高知高専、徳山高専、岐阜高専、群馬高専、明石高専、香川高専(高松キャンパス))は高専連携衛星2号機「KOSEN-2」の共同開発を進めています。KOSEN-2は、10cm×10cm×20cm・重さ約3kgの超小型衛星です。KOSEN-2は、JAXA・革新的衛星技術実証3号機に搭載される実証テーマに採択され、JAXA・イプシロンロケットにより2022年度中に打ち上げ予定です。KOSEN-2は、1号機であるKOSEN-1に続く後継機の衛星であり、KOSEN-1は2021年度中に打ち上げ予定です。

KOSEN-2の実証テーマは「超高精度姿勢制御による指向性アンテナを搭載した海洋観測データ収集衛星の技術実証・持続可能な宇宙工学技術者育成とネットワーク型衛星開発スキームの実証」であり、衛星の姿勢制御技術や海洋データ収集のIoT衛星として革新的な技術実証実験を行う計画です。写真はKOSEN-2の軌道上の想像図です。

また、著者が所属する高専は教育機関でもあるため、衛星開発を通じて実践的な学生の宇宙人材育成を行います。人工衛星の開発は、機械、電気、通信、情報等の様々な工学技術の結集が必要です。KOSEN-2の開発は、衛星の機能ごとに分担して進めており、学生と指導教員の専門分野の強みを生かして研究を進めています。本プロジェクトを応援いただければ幸いです。



KOSEN-2衛星の軌道上の想像図

## 学生会の紹介

学生会長 5E 松本 祐也

学生会の例年の主な活動は、球技大会や高専祭、文化発表会などの学校行事の企画・運営です。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、文化発表会は中止、高専祭も規模縮小で開催する形となってしまいました。しかし、その中でも、学生全員に楽しんでもらえるような高専祭を作るため、念入りに準備を行いました。結果、例年の盛り上がりとはまではいきませんでした。非常な嬉しいことに「楽しめた」という声をたくさん頂きました。コロナ禍が収まった際には、昨年度の経験と例年の高専祭の良いところを組み合わせ、さらに素晴らしい高専祭が出来上がると思います。たとえ、これからコロナ禍が続いても、今回の経験を生かして、その時の自分達に出来ることを精一杯行い、より楽しく過ごせる学校を作っていきたいと考えています。

今年の私の目標として、「学生の意見を学校生活に積極的に取り入れる」というものがあり、そのために学生の不満や要望を多く聞いていく予定です。現段階では、学生会の中での意見をまとめている段階で、その出した意見の中で実現可能なものを学校へ提案し、実現させていこうと考えています。これまでに実現したものとしては、体育祭の復活に向けた大規模なグラウンド整備があります。すぐに学校を変えることは出来ませんが、これから徐々に学校に要望を伝える機会を増やしていきます。現在の学生会員が卒業してしまった後でも、次の世代、そしてさらに次の世代にもこうした活動を継続してもらい、この米子高専がより楽しく過ごせる学校になってくれるととても嬉しく思います。そのためにも、今の学生会は今出来ることに全力で臨んでいきます。



学生会員の集合写真(昨年度の高専祭終了時に撮影)

## 全国高校選抜卓球大会女子シングルスで5位入賞

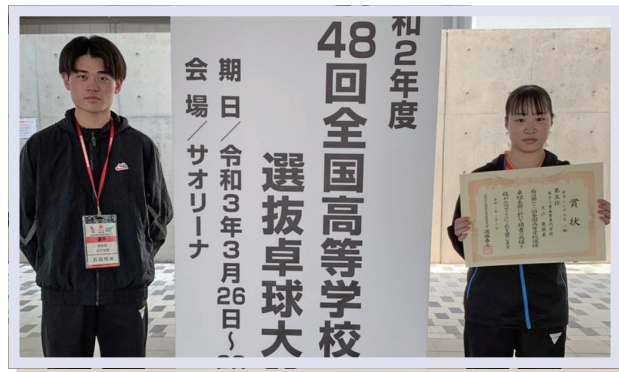
2C 土江 亜依美

3月25～28日に三重県津市のサオリーナで開催された令和2年度第48回全国高等学校選抜卓球大会の女子シングルス（2部）に出場しました。3回戦までは対戦経験のある相手が続き、3対0で順調に勝ち進むことができました。4回戦では新潟青陵高校の小宮山選手に1対3で負け、5位（ベスト8）という結果に終わりました。1、2セット目までは自分のミスも少なく点数も離されることは少なかったですが、3、4セット目は相手に流れを掴まれ巻き返すことができませんでした。

今回の大会で良かったところはサーブや打つコースを考えながらプレーできたところです。悪かったところは点が離されると弱気になったり、流れを変えるプレーができなかったことです。県外の上手な選手のプレーを見ると自分の得意な戦術を理解して大事な場面で使ったり、ミスしても顔に出さずに相手に隙を与えなかったりと技術面以外でも努力していることが分かりました。ラケットを持って練習できる時間は限られているので、その時間以外でも自己分析して戦術を考えたり次の日の練習で意識することなどを考えて、次のインターハイ予選、高専大会に向けて頑張りたいと思います。



女子シングルス準々決勝でのプレー



左：男子シングルスに出場した3M石田怜央、右：2C土江亜依美

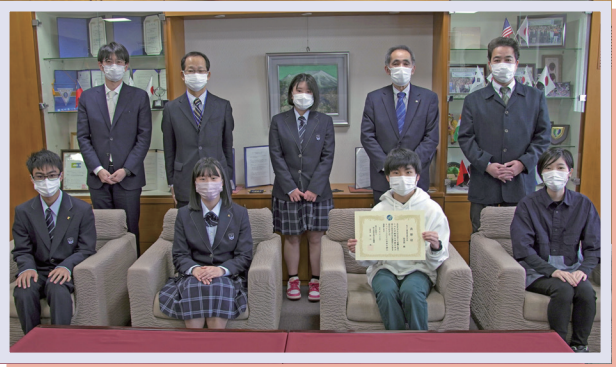
## 【放送部】令和2年度高専機構学生表彰受賞

放送部部長・4E 山本 善博

この度、令和2年度の国立高等専門学校機構学生表彰を放送部として受賞しました。放送部が高専機構の学生表彰を受けるのは、平成29年の特別表彰を含め4回目になります。昨年度は新型コロナウイルス感染の影響により、活動が制限され、思うように活動はできませんでしたが、遠隔での会議なども取り入れ、部員全員で協力し、成果につなげることができました。

1～3年生の部員が参加した「高校生のための eiga worldcup」自由部門では作品「幽かな光」が、2年ぶり3回目となる最優秀作品賞を受賞し、他部門も合わせて5つの賞を獲得しました。対面授業が始まった直後に入部したばかりの1年生が演技、撮影に積極的に挑戦してくれ、最高の作品を作り上げることができました。作品はドイツの映画祭やニューヨークのコンテストでも上映される予定です。

また、中国地区高校放送コンテストでドキュメント作品「やぎのいえ」が第3位となったり、米子市PR動画「まちなかのネギ姫」を制作したりすることができました。コロナ感染対策のため、撮影部隊の規模を縮小するなど苦勞して撮影するなど、例年と全く異なる環境での制作となりました。NHK杯全国高校放送コンテストが中止され、他校放送部と交流ができなかったことは心残りですが、その分、後輩の育成や、3DCGの作成など新しい技術の習得にチャレンジすることができました。昨年度の活動で得た経験を活かし、さらに多くの人に米子高専や放送部を知ってもらえるよう、幅広い活動を行っていきます。



校長室での受賞伝達式



「幽かな光」撮影風景



ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報  
第111号令和3年6月 発行  
米子工業高等専門学校図書館

## 図書館スタッフ・図書委員の紹介

自己紹介に当たってのテーマとしては、図書館業務への抱負・利用者へのメッセージ、図書委員になっての意気込みや抱負、おすすめの本の紹介などです。図書館でお待ちしています。

### 事務補佐員

#### 小田 千晶

より魅力的な図書館にするために、皆さんの声を聞かせてください。

「ここにコレがあれば…」 「このジャンルの本を置いてほしい！」 などなど、ご意見お待ちしております！

たくさんあって迷うのですが、今回紹介するのはコチラ。

『あるかしら書店』 著：ヨシタケシンスケ

「本当にこんな本があったら面白いのに!!」とワクワクさせてくれる1冊です。絵本に近いので、読書が苦手という人にもオススメです。



#### 福原 佳奈

福原といいます。宜しくお願いします。

私は、ミステリー小説が好きです。オススメな本がありましたら、教えて下さい。

コロナ禍で、おうち時間が増え、家で本を読む事は多くなっても、図書館に来館し本を借りる機会は、学生の皆さんも、以前よりは減ったのではないのでしょうか。

難しいかもしれませんが、気軽に立ち寄って皆さんがたくさん本を借りて欲しいなと思います。

そして、いつも、マナー良く本を借りて頂きありがとうございます。

#### 山下 風香

はじめまして！今年から図書館で働いています山下です。

皆さんと本を通じて仲良くなればいいな、と思っています。

探している本のことや図書館の利用方法、その他なんでも気軽に声をかけてくださいね。

「どんな本が面白いかわからない！」という方には『穂村弘の書評集 これから泳ぎにいきませんか』をおすすめします。やさしい言葉と本へのときめきがいっぱい、きっと読みたくなる一冊に出会えると思います。



## 事務補佐員（専攻科生）

### 上原 由梨奈

今年度、図書館業務の事務補佐員を務めます、専攻科2年の上原由梨奈です。

現在の図書館は、私が入学する前年度に完成した比較的新しい施設であり、入学時にとても綺麗な図書館という印象を受けました。綺麗な図書館を維持できるように、頑張りたいと思います。

おすすめの本は『Essential 細胞生物学』です。C科で習う生物の内容が大体、載っています。生物を勉強するには良い教科書になると思います。1年間よろしくお祈いします。



### 黒見 まい

今年度から図書館の事務補佐員をさせていただいております専攻科2年の黒見と申します。

業務としては主に、本棚の整理やカウンターでの貸出作業を行っています。

米子高専の図書館には、皆さんが参考文献として用いるような専門書だけではなく、話題本の直木賞受賞作や血液型の本などといったユニークな本も揃えられています。一度、図書館内をじっくりと見てみると、きっと気になる本を見つけることができると思います。ぜひ図書館にお越しください。

### 佐藤 詩織

今年度図書館事務補佐に採用されました物質工学専攻の佐藤詩織です。

主に図書館でのカウンター業務と書架の整理を担当します。

突然ですが、おすすめの本を紹介します。私が高専で7年間過ごしてきておすすめするのは、『マクマリー有機化学概説』です。物質工学科には有機化学に苦しめられた経験のある人がいると思いますが、この本で勉強すれば大体どうにかになります。皆さんもぜひマクマリーで勉強して良い成績を取ってください。

### 渡下 宗太郎

我が校の図書館は便利で勉強や研究が捗る過ごしやすい空間である一方で、学生が普段感じている改善点や課題もいくつかあると思います。私の業務は、カウンター対応や書架整理ですが、この図書館がより良い空間となるように改善点に対する提案や活動ができればいいなと考えています。

私のオススメの本は『昭和モダン建築巡礼・完全版』です。イラストでわかりやすく、名建築を紹介しており、建築学生は必見だと思います。ぜひ読んでみてください。

▶ 図書館の到着情報、開館日時（図書館カレンダー）、利用案内（館内の配置図を含む）、蔵書検索（OPACなど）、文化セミナー、『としょぶらり』と『研究報告』のバックナンバーなどは、当館ホームページでご確認ください。

# 図書委員会：各クラスの図書委員の紹介

## 図書委員長あいさつ

### 3A 山口 真優

今年度は昨年度のようにコロナウイルスの影響に左右されることなく無事に新学期を迎えることができました。そこで、今年は昨年度よりも活発に活動を行っていきたいと考えています。具体的には、ビブリオバトルのような学生参加型の催し物などの開催ができればと考えています。

また、図書館のイメージを少しでも変えられたらと考えています。高専の図書館は、以前自分が通っていた学校と比べると、利用者数が圧倒的に少ないと感じることが多々あります。そこで、図書館という場所が楽しい、面白いと思えるような活動を行っていくことで少しでも学生に興味を持ってもらえるようにしたいと考えています。また、自分自身利用する中でもう少し活気があってもいいのではないかなと思うことがあります。活気があると結果的に入りやすさや利用しやすさにつながっていくと思うので、このような点も委員全員で考えていけたらと思います。

これから頑張っていきますのでどうぞよろしくお祈りします。

## 図書委員一覧

年	M	E	D	C	A
5	高橋 涼平	松本 大輝	大口 智也	足立 美咲	長谷川千紘
4	岩崎 弘希	山本 真由	赤井 千珠	小川 滉生	山中 雄太
3	松尾 空知	出来 凌太	福田 怜央	津村 紘華	山口 真優
2	辻 優人	細山 晃平	三井 朱寧	仲西 美月	瀬戸口健人
	1	2	3	4	5
1	鈴木 彩子	浦富 心愛	三浦 和奏	玉木 麗華	富谷 彩愛

### 5M 高橋 涼平

はじめまして！5Mの高橋涼平と申します。

図書委員は初めてなので、分からないことばかりです。図書委員会ではビブリオバトルやブックハンティングなどいろいろな活動を行うのでワクワクしています。

私は読書が好きで、特に小説をよく読みます。好きな小説のジャンルはミステリーと恋愛です！楽しく活動したいと思っていますので、よろしくお祈りします。

### 5E 松本 大輝

私は最近、TEX 加藤が魂を込めて分析を続け、力の限りを凝縮した英語単語帳である『金のフレーズ』を読んでいます。ハマりました。この本のおかげで、英語がペラペラに…はならなかつ

たけど、英語に関心がもてました。

私は本を読むより、本を枕として使うことの方が多かったので、これを機に本をたくさん読もうと思いました。

### 5A 長谷川 千紘

もともとは読書が好きな人間ですが、高専入学後、本を読む時間は大きく減ってしまいました。以前は小説をよく読んでいましたが、高専の図書館で手に取った本は殆どが建築雑誌です。

本との関わり方は小中学校と高専で大きく変わりましたが、図書館と学生の架け橋として、図書委員の活動は小学4年時から10年間変わらずに頑張ってきました。図書委員としての最後の1年も、これまでと同様、関わる人を大切に活動していきます。

## 図書委員会：各クラスの図書委員の紹介

### 4M 岩崎 弘希

学生図書委員になりました、岩崎弘希です。私は図書委員どころか委員会に入るのが初で、高専在学中に委員会を経験しておきたいと思い、入らせていただきました。図書委員を選んだのは、自分は本を読むのが好きで、委員会に意欲が出ると思ったからです。

本の中で表現される世界は現実では有り得ないことが多く、人物や物語に引き込まれてしまいます。人に勧められるほど本は読んでないので、人に勧められるようになることを目標に委員を務めたいと思います。

### 4E 山本 真由

今年度、図書委員となりました。4E山本です。図書委員を任されるのは中学生以来で、懐かしさを感じているところです。

米子高専の図書館は専門書が多く、レポートの資料探しで利用している方が多いかと思いますが、勉学のことだけでなく、今後の生き方の参考になるような面白い本がたくさんあります。

専門書を借りるついでに、一冊興味を持てる本を借りて、教養を高めてみてはいかがでしょうか。

### 4C 小川 滉生

私は図書委員になるくらいには本が好きなのですが、本を好きになったきっかけは中学校での朝読書の時間でした。

1年生のころは嫌々仕方がなく読んでいた本でしたが、2年生のある日、いつも通り教室にある本棚から適当に本を手に取りました。

(第一回本屋大賞大賞作)

そして、その本を読み終わると人生で初めて本で感動し、楽しいと思えました。そこで、そんな経験を皆さんにしてもらえよう活動を頑張りたいです。

### 4A 山中 雄太

4年建築学科図書委員の山中雄太です。図書委員会での活動を通じて学生のみなさんの生活が



より充実したものとなるように頑張っていこうと思います。

私は建築学科に所属している、建築コースを目指しているみなさんに建築雑誌をたくさん読むことをおすすめします。より良い建築を考えるにはより良い建築をたくさん知ることがとても大事です。

図書館では自分で買うのが難しいような建築雑誌も多くあるのでぜひ利用してみてください。

### 3M 松尾 空知

今年度で、図書委員を務めるのは2回目になります。以前の経験を活かし、より一層委員の仕事に精進していこうと思います。

私は小中学生の頃は毎日読書をしていましたが、高専生になってからは課題の作成の際にしか読書をしていません。この機会に沢山の本に触れ合い、そして、その面白さを皆さまに発信していきますので、1年間、よろしく願います。

### 3E 出来 凌太

3年電気情報工学科図書委員の出来凌太です。お世話になっている学校の役に少しでも立ちたいと思い、図書委員に立候補しました。

小学校の頃、謎解きの小説をたくさん読んでいて、今でもミステリー小説が好きです。

図書委員になるのは小中合わせて今回が初めてですが、皆さんが利用したくなるような図書館にする手伝いをできればいいなと思っています。よろしく願います。

## 図書委員会：各クラスの図書委員の紹介



### 3D 福田 怜央

3Dの図書委員、福田怜央です。自己紹介も兼ねて、私の好きな本、おすすめの本を紹介します。

私のおすすめの本は『一つ大陸の物語シリーズ』（電撃文庫、著者：時雨沢恵一、絵：黒星紅白）です。

本校図書館には、このシリーズの、『アリソン』『リリアとトレイズ』などがあります。全ての物語が同じ大陸の中で展開され、シリーズを通して歴史、戦争、恋愛など多くの要素が盛り込まれており、飽きの来ない作品です。

### 3C 津村 紘華

今年度の図書委員になってたくさんの人に本の魅力や図書館の魅力を伝えたいと思います。

米子高専の図書館はきれいでテスト期間などは勉強場所として利用しているし、本も各専門教科の本だけではなく小説なども新刊がどんどん入ってきているので借りて読んでおり、そんな魅力ある図書館を図書委員の活動を通してもっとたくさんの人に利用してもらえよう頑張りたいです。

### 3A 山口 真優

3年建築学科の山口真優です。1年生の時から今まで図書委員を務めているので少しながら面白い企画やそのほかの知識があるので今後の活動に少しでも貢献できたらと思います。

図書委員会に入っている理由としては、自分が本好きというのが大きな理由です。

そのほかにも活字に触れることが好きなのも大きな理由です。今年1年頑張っていきます。

### 2M 辻 優人

私は、図書委員会に入るのは今年が初めてなので、分からないことも多いと思いますが、これも新しい事への挑戦だと思い仕事に全力で取り組んでいきます。

ライトノベルをよくよく読んでいますが、今年は学校の図書館を活用してライトノベル以外の本も読んでいきたいです。

抱負は、学校にある本のなかで他の人にオススメできるような本を見つけていくことです。

### 2E 細山 晃平

2年電気情報工学科の細山晃平です。文学小説を中心によく本を読むので、図書委員会メンバーになることが出来てとても嬉しく感じています。

昨年度参加したビブリオバトルの参加賞として頂いた図書カードを利用して、新しく買った知念実希人さん著『屋上のテロリスト』を最近読み進めています。同じクラスの学生が紹介していた本で、「設定がぶっ壊れている」小説です。

一度その小説の世界にハマってしまうとなかなか抜け出せなくなるので、テスト前である今現在ではあまり読んでいませんが、この小説の有り得たかもしれない、有り得ない世界線に引きずり込まれるのを楽しみにしています。

### 2D 三井 朱寧

念願の図書委員になれてとても嬉しく思っています。

私がおすすめる本は、住野よさんの『また、同じ夢を見ていた』です。この本より感動した本をまだ読んだことがありません。登場人物が発する言葉ひとつひとつが素敵で、きっと自分にあった言葉が見つかります。

私のお気に入りの言葉は「人生はプリンみたいなものってことね。甘いところだけで美味しいのに苦いところをありがたがる人もいる」です。ぜひ読んでみてください。

## 2C 仲西 美月

今年度図書委員になりました、2Cの仲西美月です。図書委員は小学校でも中学校でも受けもったことがないですが、1年間一生懸命この役職をやり遂げようと思います。

私がお勧めする本は『あらしのよるに』です。子供は絵本で、大人は小説で、幅広い年代が楽しむことができます。

この本はオオカミとヤギの友情がテーマの物語です。食物連鎖の壁があるこの2匹の関係や行動から目が離せなくなるような本です。

この物語の最後には感動のラストが待っています。皆さんも感動したい！というときにはとてもお勧めなので、ぜひ読んでみてください。

## 2A 瀬戸口 健人

2年A科の瀬戸口健人です。私は図書委員会でもっと本をたくさん読みたいです。

私は本が好きですが、去年はあまり自分の読みたいような本がなかったので、ブックハンティングなどでたくさんの人に喜んでもらえるような本を見つけたいです。

そして、たくさんの人が本が好きになって、本を読みたくなるような環境を作っていきたいです。これからもどんどん本を読んでいきたいし、人にも広めていきたいです。

## 1-1 鈴木 彩子

1-1の鈴木彩子です。最近、中間試験の準備をしているので、物理の本を読んでいます。

『名問の森 物理 力学・波動』がおすすめです。私にとってちょっと難しいですが、解説が詳しいので、じっくり考えればわかるようになります。

図書委員の経験はありませんが、頑張ります。

## 1-2 浦富 心愛

私が苦手な国語を克服するために本に興味を持ったように、些細なことから本に興味を持ってくれる人を増やしたい。

また、自分自身も本を読む回数を増やし、視野

をひろげていきたい。

本に苦手意識を持っている人に本を好きになってもらえるよう、まずは自分が本とたくさん触れ合っていきたい。

ちなみにおすすめの本は『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら』です。

## 1-3 三浦 和奏

小学校4年生の時にライトノベルを初めて読み、読書にハマりました。濫読派なので、ジャンル等に関わらず気軽におススメの本や作家さんを教えていただけると嬉しいです。

学生の皆さんには、10代の繊細な心や学校特有の難しい交友関係をリアルに表現した『かがみの孤城』、『オーダーメイド殺人クラブ』（辻村深月）という本を読んでみていただきたいです。これから1年間よろしくお祈いします。

## 1-4 玉木 麗華

入学して初めて高専の図書館を訪れたとき、今まで見てきた小学校や中学校の図書館とは雰囲気や設備、他にもいろいろなことが違って驚きました。

この図書館のいろいろな顔を知りたいと思ったし、やりがいのある仕事だと思ったので図書委員会に入りました。

さらに図書館を利用しやすくするために委員会で協力して頑張りたいです。

## 1-5 富谷 彩愛

1年5組の図書委員になりました、富谷彩愛です。

修学ガイダンスの際に初めて図書館に入ったとき、その綺麗さに驚きました。また、専門書の多さや勉強に集中出来る環境もこの学校の図書館のすごいところだと思います。

そのすごい図書館を、もっと良い場所にするための活動に少しでも携わることができたらと思います。自分の仕事は精一杯頑張りたいと思います。1年間よろしくお祈いします。

## 図書館スタッフの紹介

### 図書館長・館長補・学生課長（学術情報係長併任）

#### 加藤 博和

その日の新聞各紙に目を通したり、いろいろな原稿を書いたり直したり、定期試験の採点をしたり、新着図書や雑誌に触れたり、米子高専で勤務し始めてから15年くらい経ちますが、様々に図書館を利用しています。

これまでは一利用者でしたが、今年度は図書館長を務めています。ユーザの視点も生かして職務遂行に当たりたいと思う所存です。

積読（つんどく）が趣味です。旅先で公立図書館や出張先で大学図書館、国会図書館などに立ち寄るのも楽しみです。



#### 藤田 剛

私の読書は、自分の興味を持った本をストック、もしくは調査しておき、ある程度まとまった時間を作って読み進めるスタイルで、タイトルに惹かれた新書を手にとることが多いです。

現在、書籍はこれまでの紙媒体に加えて、電子書籍も広く普及してきています。

自分の読みたい本がすぐに手元に届く便利な世の中です。

図書館長補として、米子高専図書館でも、ご利用される皆さまの利便性に目を向けて活動して行ければと考えております。

#### 坂野 豊和

学生時代、図書館には用もないのによく行きました。書架に並ぶ本の背表紙を眺め、気になった本を手に取り、ぱらぱらとページを繰る。その一連の行為が好きでした。

借りた本をよく小脇に抱えていたので、本を読む人と思われていましたが、読まずに返すのが常でした。本が好きというより、本が好きな人が好きでした。

図書館運営に携わる機会を得られたこと大変うれしく思います。

皆さんと一緒に良い図書館を作っていきたいです。



図書館の見学の様子(1年生LHR)



図書や雑誌を借りる1年生

## 図書館長あいさつ

教養教育部門 加藤 博和

今年度最初の『としょぶらり』をご覧いただき有り難うございました。いかがでしたでしょうか。ご感想、ご意見などお寄せいただけましたら幸いです。

1つ前の第110号(令和3年3月)から、『彦名通信』と合併し、学生へ直接配布していたものを、保護者の皆様へお届けするよう変更されていますが、今号ではこれまでのとしょぶらりのスタイルからイメージチェンジしてみようと試みました。写真を増やしたり、学生の皆さんにたくさん登場してもらったりして、広報を通じて図書館を親しみやすく身近に感じてもらえるようになればという思いからです。

図書館には、館長、館長補、学術情報係長、係員のほか、カウンター(貸出・返却)や書架の整理・点検などの業務を担っていただいている社会人の方と専攻科生が配置され、サービスを提供しています。学生、教職員の皆さんにスタッフのことを知っていただけたらと思い、自己紹介を掲載することにしました。また、本科1年生から5年生までの各クラス1名ずつ図書委員が選出され、図書委員会が組織されています。今号では定例の図書委員長あいさつに加えて、図書委員全員に自己紹介の寄稿を依頼してみました。個性豊かな文章が集まりうれしく思います。今後の図書委員会の活動に大いに期待できます。短時間で書いてくれて有り難うございました。

昨年度掲載されていた「購入図書(抜粋)」と「図書館利用統計」は、図書館のホームページへ移行することとしその掲載内容も検討したいと思います。むしろ新着図書の情報などは学生連絡用 Teams を活用しタイムリーに配信した方が効果的かと考えます。

「新任教員おすすめ本」は割愛しました。彦名通信と合体したことで、としょぶらりは従来の年2回から増刊が可能となったともいえます。図書館の利用促進という目的に向けてとしょぶらりを充実・活用したいと図書館長として思っています。

図書館のホームページのコンテンツ(フレーム)も私が採用された15年前の頃とあまり変わっていないように感じますので、こちらの見直しとリニューアルにも着手したいと思います。

改めまして、今年度、図書館長を拝命しました加藤と申します。総合工学科教養教育部門(社会)の教員です。リベラルアーツセンター長と教務主事補等も兼務しております。

年度当初の運営方針として、①学生等のニーズに沿った図書館サービスの改善・充実、②デジタル化やSDGs等に対応した図書館のあり方の検討を掲げました。業務の見直しを図り、新機軸や相乗効果(シナジー)も出していく必要があります。デジタルの時代だからこそ、アナログ的な部分やヒューマニティの面も大切にしたいと思います。よろしく願いいたします。

## トピックス

- 4月6日(火) 編入生・留学生への図書館ガイダンスの実施
- 4月13日(火) 修学ガイダンス(1年生)で図書館の利用案内(Teams併用)
- 4月13日(火) } 1年生各クラスが図書館を訪問、館内見学対応
- 20日(火) }
- 27日(火) }
- 5月14日(金) 図書部会(第1回)
- 5月18日(火) 学生図書委員会(第1回)
- 6月11日(金) 図書部会(第2回)



OPAC(蔵書検索)を実際に体験

## 卒業生は今 vol.25



### 吉田 輝子

2004年3月 建築学科卒  
2006年3月 建築学専攻修了  
キミトデザインスタジオ 主宰



まちなか空き物件ツアー



日本財団まちなか拠点よなご  
(米子市法勝寺町)商店街空き店舗改修

### 『米子で育って、米子で暮らして』

私は今、結婚して2歳の子供を育てながら、個人事業主として建築デザインの仕事をしています。私が手がけている仕事は、主に古い建物を店舗や住宅にリノベーションをする仕事で、“今あるモノを活かす”事を心がけてデザインしています。

私がこのような仕事をするきっかけになったのは、本科5年生の時に、鳥取県が県内に残る近代(1868年(明治維新)から1945年(終戦)まで)に建築された建物を調査する事業に同行したことです。

その頃の私は、就職活動は始めていたものの、漠然と「建築業界にいく」というようなビジョンしか無く、そんな中同行した鳥取県近代和風建築の調査で、県内にはたくさんの立派な木造住宅が残っていることを知りました。そういった歴史ある建物を残して後世につないでいく仕事がしたいと思うようになりました。

就活でも、そちらの方面に方向性を定め、古民家再生を手がけている京都や倉敷の設計事務所など問合せみたものの、当時は就職氷河期で、どこの会社も新入社員の募集はしていないと断られてしまいました。就活が難航していたときに米子高専にも専攻科ができる事を知り、専攻科に進学してまた改めて県内の古民家の研究をしました。専攻科修了時も世間はより一層就職氷河期となっていて「古民家じゃなくとも、木造建築ができればいいや…」とモチベーションも理想の仕事のハードルも下がりきっていました。

そんな私が就職したのは、店舗をメインに設計・施工を手がける米子市内の会社でした。社長一家と社員数名という大きくは無い会社でしたが、そのおかげで、ひとつの物件を打合せ～設計～見積～施工管理～引き渡しまで一貫して担当させてもらえることができました。お客様の要望を図面にして空間を作り上げ、お礼の言葉までもらえる仕事にやりがいを感じました。

“家を建てる・店舗を作る”の一連の仕事がわかってくると、「上の指図を受けず自分で思うように仕事をしてみたい」という欲求が生まれ、会社を辞めて独立しました。

今の手がけている仕事は、在学中に思い描いた「県内の立派な古民家を残していく」にドンピシャな内容ばかりでは無いですが、米子や山陰という地域にある空き家や空き店舗をリノベーションして、新たな家族の住まいや店舗に生まれ変わらせる仕事をしていたら、ちょっとずつ県内の歴史的な建築に関するお仕事もいただけるようになってきました。

また、建物単体だけでなく、“まち”の歴史や建築物、空き物件を楽しもう！と「まちなかの空き物件ツアー」を企画したり、まちの空きスペースで楽しいことしよう！と「まちなか月イチマーケット」を企画したりしています。

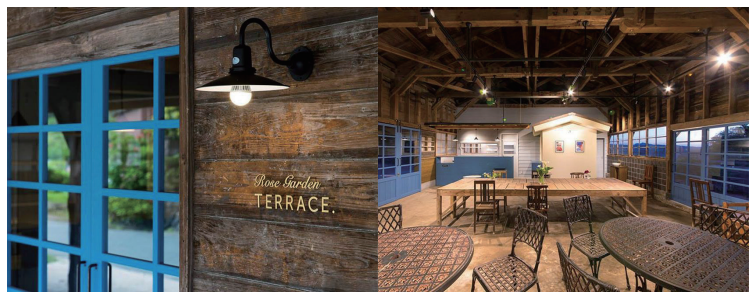
もはや建築の仕事では無いようなことも多いですが、自分が楽しい！やってみたい！と思う事をできているので、忙しいですが幸せです。

就職活動に苦戦し、一時夢を諦めたような気持ちになっていましたが、専攻科修了して15年経ち、様々な経験やヒトとのつながりが重なり合い、だんだんと学生時代に思い描いていたような仕事にも携われるようになってきました。

どんな経験も必ず何かにつながって、生きてくると実感しています。

コロナの影響でこの先がどうなるかわからないと言われる世の中ですが、こんな時だからこそ、広い世界に目を向けている経験をしたり、多様な価値観に触れる機会を作ってほしいと思います。

高専卒業時には、都会に出たい！大企業に勤めたい！とあって、都会にも出れなかった、大手に就職も出来なかったと自分を卑下していましたが、今は米子に生まれ育って、米子で暮らして、米子ってほんとに良いところでそこに暮らせていて幸せだなと感じています。学生の皆さんにも「米子のまちって良いよね」って思ってもらえるように、もっと米子のまちを楽しんでいきたいと頑張っています。



Rose Garden Terrace(伯耆町久古) 旧梨選果場改修

※記事において、学科等の名称をアルファベットで表記している箇所があります。

M…機械工学科、E…電気情報工学科、D…電子制御工学科、C…物質工学科、A…建築学科、G…教養教育科、S…専攻科  
例えば、「5M」は機械工学科5年生を表しています。

発行：米子高専広報室 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 TEL: 0859-24-5000 FAX: 0859-24-5009  
ホームページ：https://www.yonago-k.ac.jp/ 印刷：東京印刷株式会社